

地域医療構想の実現に向けた具体的対応方針について（案）

1 地域医療構想について

急速な少子高齢化が進む中、医療介護需要の増大と疾病構造の変化が予測され、限られた医療資源を効率的かつ効果的に活用することや、医療と介護の連携を図るため、患者のニーズに応じ、高度急性期から急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される医療体制の確保を目指すもの。

胆江圏域においては、奥州市の医療機関再編案件が長期にわたり協議されてきたため、地域医療構想における具体的対応方針は未定であったが、今般、同案件に係る基本方向がほぼ決定されてきている状況であり、これを踏まえて具体的対応方針を策定するもの。

2 具体的対応方針

胆江圏域内の病院及び有床診療所から報告いただいた病床機能別病床数について、別紙のとおりである。

【現 状】

(1) 圏域内の病床数について

2025年病床数見込（1,316床：精神病床を除く）が2025年に必要とされる病床数（1,114床）を上回っていることから必要病床数は充足されていること。

(2) 病床機能別病床数について

ア 急性期

平成26年病床機能報告では825床であったが、令和5年度での2025年（令和7年）病床数見込では367床と主に回復期への転換により大きく減少している。また、2025年（令和7年）必要病床数は357床であり、2025年（令和7年）病床数見込との差は10床の余剰で、ほぼ必要病床数と均衡状態となっている。

イ 回復期

平成26年病床機能報告では60床であったが、令和5年度での2025年（令和7年）病床数見込では467床と主に急性期からの転換により大きく増加している。また、2025年（令和7年）必要病床数は312床であり、2025年（令和7年）病床数見込との差は155床の余剰となっている。

※ 県立江刺病院の令和6年度からの58休床分を見込んでいるもの

ウ 慢性期

平成26年病床機能報告では606床であったが、令和5年度での2025年（令和7年）病床数見込では363床と減少している。また、2025年（令和7年）必要病床数は445床であり、2025年（令和7年）病床数見込との差は82床の不足となっているが、現状で慢性期の病床数に特段の支障は見受けられないこと。

【方向性】

(1) 圏域内の病床数については、必要病床数を維持していく。

(2) 病床機能別病床数については別紙のとおりとする。

(3) 医療と介護の連携や在宅医療の充実に向けた取組について、医療機関や関係施設、団体等とより一層進めていく。

3 再検証について

2019年（令和元年）に、厚生労働省から岩手県内10医療機関について、平成29年度病床機能報告データに基づき、「診療実績が特に少ない」、「診療実績が類似かつ近接している」などの状況について、各圏域の地域医療構想調整会議で真に地域医療構想の実現に沿った内容となっているか再検証するよう求められた。

このうち、胆江圏域内で指定された公立3病院（県立江刺病院、総合水沢病院、まごこ

る病院)については、平成29年病床機能報告時にいずれも急性期病床であったこと、「診療実績が特に少ない(県立江刺病院)」、「診療実績が類似かつ近接している(県立江刺病院、総合水沢病院、まごころ病院)」といった状況から、再検証するよう求められていたもの。

2019年度内の期限であったが、その後のコロナ対応や奥州市医療機関再編案件の協議の長期化のため保留となっていたもの。令和5年度中に検証する必要があること。

【状況】

当該再検証については、平成29年度病床機能報告のデータにより実施したため、当時の県立江刺病院、総合水沢病院、まごころ病院の病床数はいずれも急性期のみで、順に130床、145床、48床であった。その後、下記のとおり以後の病床機能報告において急性期から回復期に転換していること。

(再検証を求められた公立3病院の病床機能報告での回復期への転換経緯)

- 県立江刺病院 H29 急性期 130床 → R2 回復期 118床 (差12床は減床)
- 総合水沢病院 H29 急性期 145床 → R4 急性期 49床、回復期 50床 (残り46床は休床)
- まごころ病院 H29 急性期 48床 → R1 回復期 48床

【公立病院経営強化プラン策定との関係】

上記3公立病院については、公立病院経営強化プランを策定することで、それを具体的対応方針とすることで、事実上の再検証済との扱いとなること。

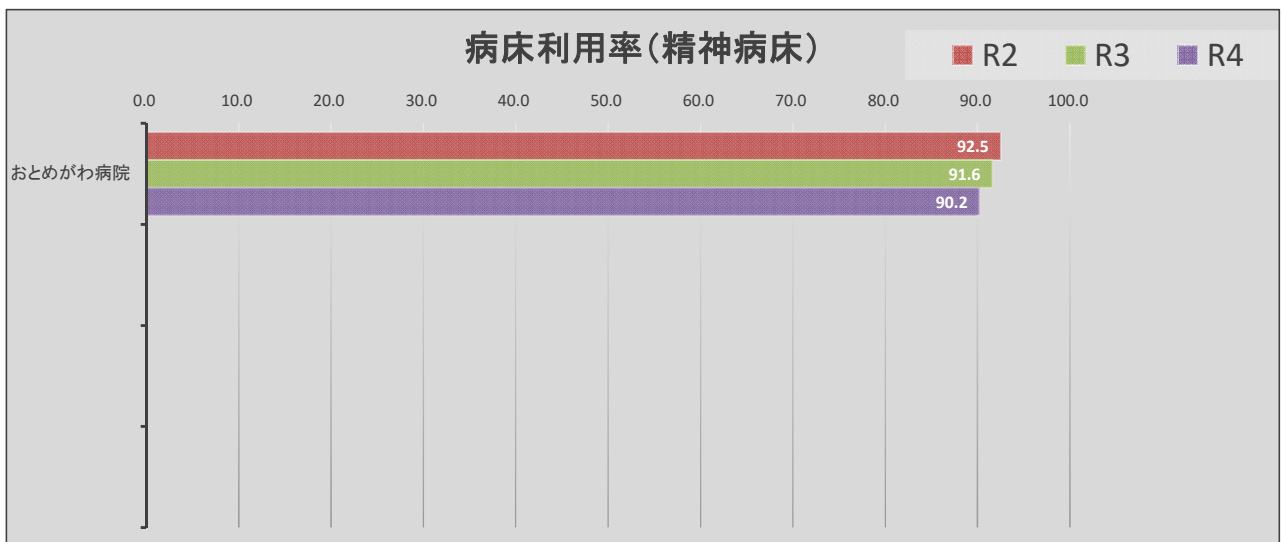
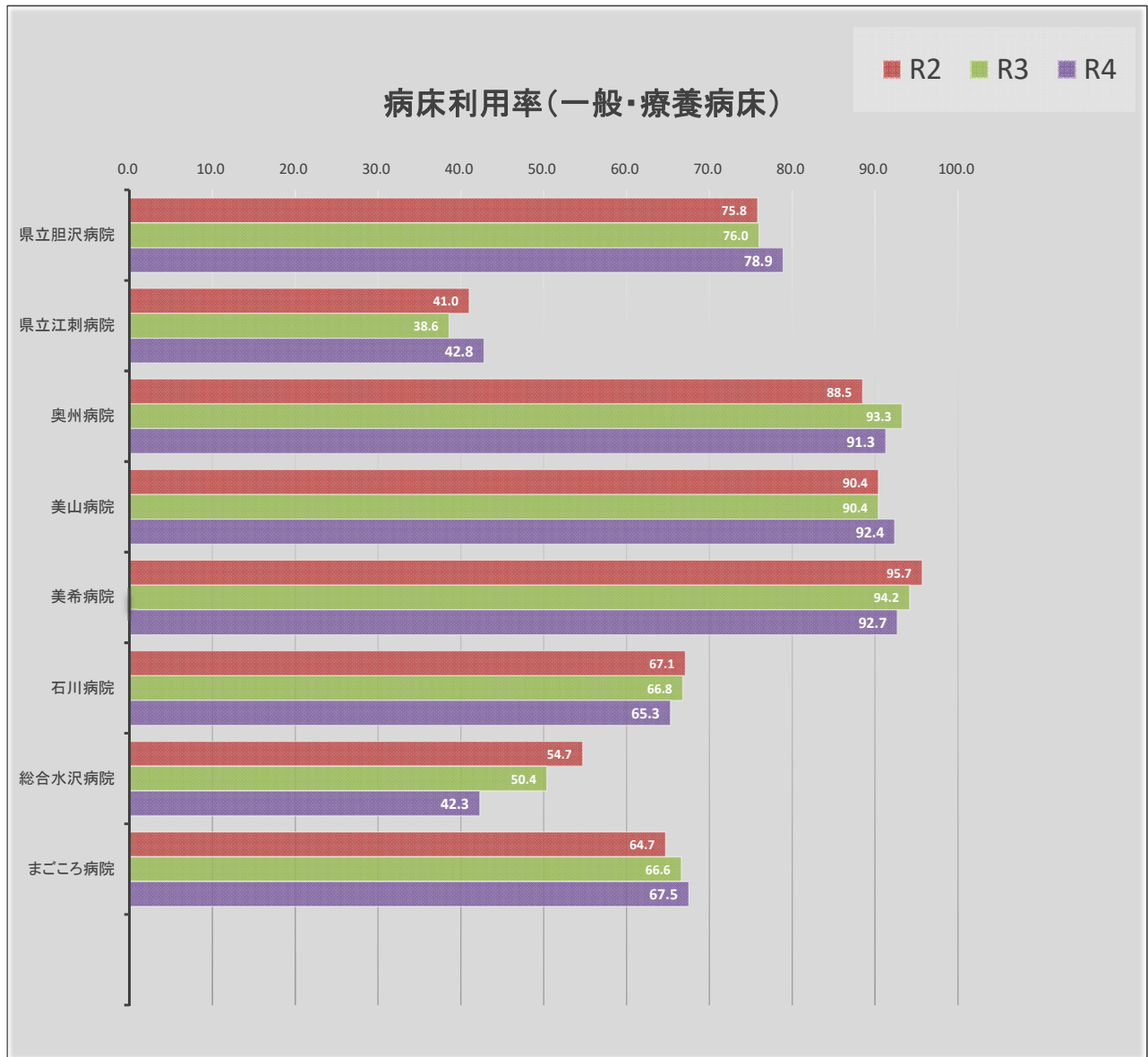
【結論】

上記の状況から、県立江刺病院、総合水沢病院、まごころ病院の再検証については、いずれも急性期から回復期に病床を転換済であること及び公立病院経営強化プラン策定をもって具体的対応方針とすることから、再検証済であるとしたい。

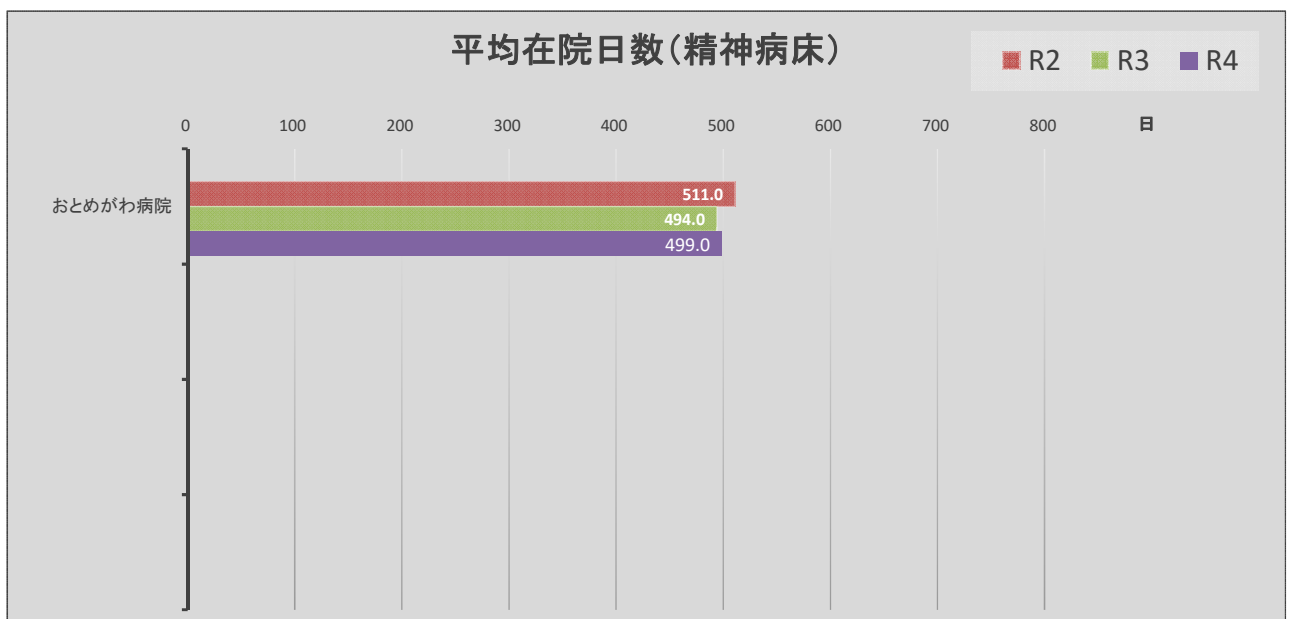
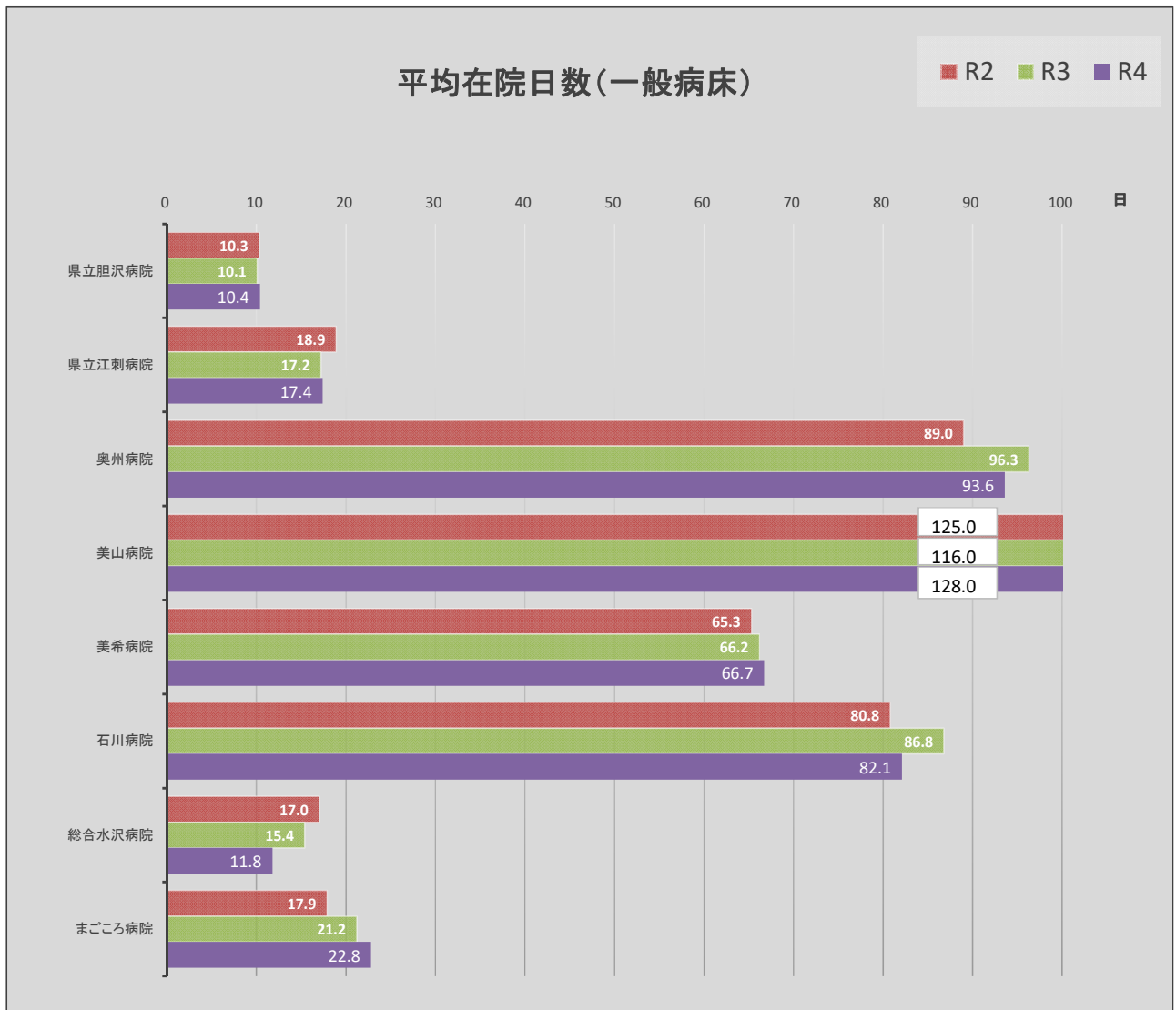
4 今後の対応

引き続き地域医療連携会議の場において、当圏域の将来の医療ニーズに合致した病床機能のあり方について、国、県の方針に基づき、毎年度検証していく。

病院ごとの病床利用率(過去3年)



病院ごとの平均在院日数(過去3年)



各病院の役割と特色(概要)

01 県立胆沢 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療を提供 ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供 ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施 ・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を受入れ ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ ・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ
02 県立江刺 病院	<p>・当院は広大な面積を持つ旧江刺市地区唯一の病院であり、基幹病院と連携しながら二次救急病院として、この地域の救急患者の診療を行う一方で、地域包括ケア病床を導入し、他の医療機関や施設と連携しながら回復期の入院医療を行っている。 また、江刺地区唯一の透析医療施設として人工透析(透析装置11台)を行っている。</p>
03 奥州病院	<p>・地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を有する胆江地域の後方支援病院。透析(夜間外来透析)、二次救急指定病院、へき地医療拠点病院としての役割も担う。</p>
04 美山病院	<p>・回復期機能を一部持ち併せてはいるが、長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施している。また、「緩和ケアの心をすべての病棟に」をモットーとして、可能な限りの医療サービスが行えるよう取り組んでいる。</p>
05 美希病院	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣医療機関(急性期)との前方支援による、症状安定または継続治療が必要な患者さんの受入れを行っている。 ・地域の高齢者福祉施設や居住系施設の入居者の嘱託医機能を有し、容態変容時の外来、入院の診療対応を行っている。 ・健診センターを有し、地域の生産年齢人口層の健康増進における企業健診を受け入れている。 ・透析治療が必要な患者さんに対し、外来・入院対応を行っている。 <p>これらの機能を有し、前沢・衣川地区の病院として、地域の高齢者(慢性期患者)の受入れや、透析やリハビリテーションの専門機能を有している。また、在宅と外来診療の連携をし、居宅支援事業を強化している。</p>
06 石川病院	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病院から超急性期・急性期以降の患者さんの受入れ。また、終末期・緩和医療・看取りなどの対応 ・中・軽度急性期など受け入れ可能な患者さんの対応 ・慢性期疾患の医療型療養病棟にて受入れ ・施設入所者の診療、必要時の入院受入れ ・通院中のかかりつけ患者さんの急性期対応 ・感染症外来、感染病室などによる感染症の対応
07 総合水沢 病院	<p>・圏域の医療機関との役割分担や連携を図りながら、中・軽度の急性期医療から、ポストアキュートの機能、在宅医療のバックアップベッド機能等、多様な疾患に対応する地域医療に密着した病院</p>

各病院の役割と特色(概要)

08 まごころ 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・胆江地域、さらには胆江医療圏の主に高齢者等の外来診療、入院診療 ・在宅医療(訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護、訪問リハビリ)への積極的取組 ・住民健診や予防接種等による疾病予防への取組 ・臨床研修医や医学生の研修や実習を積極的に受入れ、医療人材育成の一端を担う。
09 おとめがわ 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・胆江圏域で精神病床を有する唯一の医療機関 ・入院対応要するケースも含み、精神科領域での圏内医療要請に応える。 ・急性期、回復期、慢性期全体をカバーする良質の医療を目指す。
10 奥州市国民健康保険前沢診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・内科診療を中心に診療内科の検査及び治療も専門的に行っており、県立胆沢病院をはじめとする管内医療機関(紹介元医療機関)やおとめがわ病院(紹介先医療機関)と連携している。 ・臨床検査やCT検査の受託をさとう整形外科・リウマチ科クリニック及びたかはし整形外科スポーツクリニックから受けている。 ・平成26年8月から(平成28年5月9日の再開所後も)休床(19床)としている(病床廃止を検討している。)
11 奥州市国民健康保険衣川診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・山間へき地である衣川地域唯一の医科医療機関として、へき地診療所としての役割やかかりつけ医機能を担い、県立胆沢病院(紹介先兼紹介元医療機関)や市立医療機関と連携して地域医療の提供を行っている。 ・隣接する衣川地域唯一の高齢者施設の嘱託医として、医療介護連携を進めながら、衣川地域の地域包括ケアシステムを支えている。
12 鈴木眼科 吉小路	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の眼科診療を実施
13 井筒医院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療需要を参考にしながら病床機能の転換を検討していく。令和7年の病床機能は未定。
14 桜井医院	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚疾患並びに漢方治療を希望される患者につき、検査及び治療を専門的に行っており、総合水沢病院ないし県立胆沢病院(照会先 地域中核病院)と連携をしている。 ・平成26年4月1日より全て休床(9床)としている。今後、ここ数年の医療動向を考慮し、病床を廃止する予定である。
15 平間産婦人科	<ul style="list-style-type: none"> ・現在休床中で、入院対応できない状態である。
16 産婦人科 おいなお 医院	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診を北上済生会病院、県立中部病院、県立磐井病院などと連携し、行っている。 ・対がん協会などの検診に引き続き、2次検診を行っている。 ・令和3年4月1日より11床休床中。令和6年までに病床廃止予定。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立胆沢病院
-----	----------

診療科目	内科、精神科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	337			9		346
	稼動	337			9		346
	非稼動	0					0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	271			2		273
	R3	262			1		263
	R2	262			0		262
							0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	80.3			27.6		78.9
	R3	77.8			9.4		76.0
	R2	77.8			2.3		75.8
							0.0

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	10.4			5.7		10.4
	R3	10.1			10.1		10.1
	R2	10.3			9		10.3
							0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在		337			9	346
	R7見込(2025年)		337			9	346

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) **なし**

次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立胆沢病院
-----	----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

- ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療を提供
- ・地域がん診療連携病院として、専門的ながん医療を提供
- ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施
- ・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を受入れ
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ
- ・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・介護スタッフを交えた退院前カンファレンスの実施
- ・ケアマネや介護福祉施設と患者情報を共有し、円滑な退院につなげるなど入退院支援機能の強化
- ・NST回診データの共有による医科歯科連携の強化

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・訪問診療部会による訪問診療・看護の継続

(3) 医療従事者の確保

- ・早期離職予防として、メンタルヘルス支援事業の個人カウンセリングを、新採用職員全員に活用促進

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・HCU6床の整備を検討中

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立江刺病院
-----	----------

診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科(標榜診療科としては、小児科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科及び麻酔科がある。)
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	118			15		133
	稼働	118			15		133
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	56.9					56.9
	R3	51.3					51.3
	R2	54.6					54.6
							0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	48.2					42.8
	R3	43.5					38.6
	R2	46.2					41

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	17.4					17.4
	R3	17.2					17.2
	R2	18.9					18.9

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在			118			118
	R7見込(2025年)			118			118

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期)) **なし**



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立江刺病院
-----	----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・当院は広大な面積を持つ旧江刺市地区唯一の病院であり、基幹病院と連携しながら二次救急病院として、この地域の救急患者の診療を行う一方で、地域包括ケア病床を導入し、他の医療機関や施設と連携しながら回復期の入院医療を行っております。また、当院は、江刺地区唯一の透析医療施設として人工透析(透析装置11台)を行っている。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・介護施設及び訪問看護ステーション等と連携し、後方支援病院としての役割を担っている。
江刺地区の医療機関、介護施設及び行政機関の連携を強化するため、研修や意見交換等を行う場として、当院を事務局とした奥州市江刺地域医療福祉連携懇話会を設置し、年4回の研修会等を開催している。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・訪問看護ステーション等と連携しながら在宅患者の訪問診療を行い、在宅での看取りも行っている。

(3) 医療従事者の確保

・医師については、関係大学医局への訪問や求人募集のほか県医療局医師支援推進室と連携し確保に努めている。
その他正規の医療従事者については、県医療局において一括管理(確保)している。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション等)

・精神科医による「もの忘れ外来」を週1回行っている。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人清和会 奥州病院
-----	--------------

診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、総合診療科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	38	118				156
	稼働	38	118				156
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	33.6	104.5				138.1
	R3	34.4	112.1				146.5
	R2	33.8	109.9				143.7
							0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	88.5	93				91.3
	R3	90.3	94.9				93.3
	R2	89.0	88.4				88.5
							0.0

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	31	125				93.6
	R3	32	130				96.3
	R2	28	120				89
							0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在			96	60		156
	R7見込(2025年)			96	60		156

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人清和会 奥州病院
-----	--------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を有する胆江地域の後方支援病院
透析(夜間外来透析)、二次救急指定病院、へき地医療拠点病院としての役割も担う。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・地域医療連携部の活動に加え、法人内の事業所である訪問看護ステーション、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等との連携

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟より、入院患者の在宅復帰を図る。また、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリにより在宅患者への充実を図る。

(3) 医療従事者の確保

・各職種養成学校の採用部への訪問及び実習生の受入れ。
ハローワーク、紹介会社の利用や現職員からの紹介等の継続的な実施。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 啓愛会 美山病院
-----	-----------------

診療科目	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、緩和ケア内科
------	------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	112	60				172
	稼働	112	60				172
	非稼働	0	0				0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	100.1	58.8				158.9
	R3	96.5	59.0				155.5
	R2	97.4	59.4				156.8
							0.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	89.3	98.0				92.4
	R3	86.1	98.3				90.4
	R2	87.0	99.0				90.4

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	80.0	502.0				128.0
	R3	68.0	238.0				116.0
	R2	72.0	422.0				125.0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在				172		172
	R7見込(2025年)				172		172

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



○ 利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 啓愛会 美山病院
-----	-----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・回復期機能を一部持ち併せてはいるが、長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施している。また、「緩和ケアの心をすべての病棟に」をモットーとして、可能な限りの医療サービスが行えるよう取り組んでいる。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施
・地域の介護施設等、嘱託医となっている施設へ訪問し連携を強化
・出前医療講演等を実施し、医療・介護関係者との連携を図る。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・出前医療講演等を実施し、医療・介護関係者との連携を行っている。
・入院治療が必要となった在宅患者の受入れ

(3) 医療従事者の確保

・法人内ホームページ等による求人掲載
・学生実習の受入れや職場体験、ふれあい看護体験等を実施し、当院の魅力を発信していく。
・オープンキャンパス等への積極的な参加と病院見学を実施

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・認知症サポート医による認知症患者への医療提供及び緩和ケア病棟での認知症患者の受入れ体制
・回復期・慢性期・緩和・在宅リハと幅広いニーズに対応できるようリハビリテーションの体制強化を図る。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 啓愛会 美希病院
-----	-----------------

診療科目	内科、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、リハビリテーション科、皮膚科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	149	100				249
	稼働	149	100				249
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	140	90.5				230.5
	R3	139.4	95.1				234.5
	R2	141.9	96.2				238.1

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	93.9	90.5				92.7
	R3	93.5	95.1				94.2
	R2	95.2	96.2				95.7

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	49.8	168.5				66.7
	R3	49.2	155.6				66.2
	R2	49.3	139.3				65.3

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在			149	100		249
	R7見込(2025年)			149	100		249

○ 病床機能等の再編予定 **あり** (運用開始予定時期) **なし**



○ 利用する補助金 **なし**
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 ■ その他(補助金名: 医療施設近代化施設整備事業における制度)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	現在、建物老朽化並びに地域医療のあり方を見据えて、基本構想を策定中である。
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	許可病床200床未滿
【整備計画】	現段階では、病院の方向性についての方策を検討中であり、具体的な整備計画には至っていない。ただし、将来的な人口動態(患者分布や医療スタッフ確保)と機能再編を含め、病床削減を前提としている。よって、現時点での再整備後の事業開始については未確定である。

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名

社団法人 啓愛会 美希病院

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・近隣医療機関(急性期)との前方支援による、症状安定または継続治療が必要な患者さんの受入れを行っている。
・地域の高齢者福祉施設や居住系施設の入居者の嘱託医機能を有し、容態変容時の外来、入院の診療対応を行っている。
・健診センターを有し、地域の生産年齢人口層の健康増進における企業健診を受け入れている。
・透析治療が必要な患者さんに対し、外来・入院対応を行っている。
これらの機能を有し、前沢・衣川地区の病院として、地域の高齢者(慢性期患者)の受入れや、透析やリハビリテーションの専門機能を有している。また、在宅と外来診療の連携をし、在宅支援事業を強化している。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・現状の機能を維持し、地域の高齢者(慢性期患者)の受入れや、透析やリハビリテーションの専門機能を強化していきたい。また、介護施設・居住系施設・在宅と外来診療の連携を継続し、地域の高齢化に対応していく。
・生活習慣病における予防や啓発につながる事業の展開を強化していく。

(2) 在宅医療の充実にに向けた取組について

・患者やご家族との面談等を通じ、在宅で利用可能な資源や制度について情報提供を図っていく。
・介護施設・居住系施設における嘱託医機能を維持していく。

(3) 医療従事者の確保

・ハローワークにおける求人掲載(各種職業紹介所を含む)
・医療専門職を目指す学生への支援を行っていく。
・奨学金の活用による医療専門職への支援を通じ、確保を目指す。
・職員紹介によるインセンティブ制度の導入

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

(第1項における回答に続く)
病床機能(入院基本料)についても検討を開始している。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 石川病院
-----	-------------

診療科目	内科、外科、整形外科、小児科、消化器内科、循環器内科、皮膚泌尿器科、こう門科、麻酔科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	20	12				32
	稼働	20	12				32
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	11.7	9.1				20.8
	R3	11.1	10.2				21.3
	R2	11.1	10.3				21.4

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	58.9	76				65.3
	R3	55.5	85.7				66.8
	R2	55.8	85.9				67.1

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	55.8	208.1				82.1
	R3	52.6	288.9				86.8
	R2	16.2	418.1				80.8

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在			20	12		32
	R7見込(2025年)			20	12		32

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	病床機能の再編縮小について、検討中。コロナ病床の確保後、一時満床となり、感染症流行時の際の病床の確保の必要性を実感している。また、縮小した場合、看護単位の編成がより困難となり、行政(県・市)や他の医療機関との連携の必要性を感じています。
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	可能であれば補助金の利用を検討中
【整備計画】	検討中

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 石川病院
-----	-------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

<ul style="list-style-type: none">・急性期病院から超急性期・急性期以降の患者さんの受入れ、また、終末期・緩和医療・看取りなどの対応・中・軽度急性期など受入れ可能な患者さんの対応・慢性期疾患の医療型療養病棟にて受入れ・施設入所者の診療、必要時の入院受入れ・通院中のかかりつけ患者さんの急性期対応・感染症外来、感染病室などによる感染症の対応
--

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

<ul style="list-style-type: none">・施設入所者の健康管理(現状)の継続・在宅医療のサポート、訪問診療の取組・介護のネットワークの有効利用

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

<ul style="list-style-type: none">・訪問診療の充実・入院患者さんや通院患者さんの在宅復帰へ、介護ネットワーク、ケアマネージャーなど介護担当者とのさらなる連携
--

(3) 医療従事者の確保

<ul style="list-style-type: none">・ハローワークの募集や大学、看護学校などでの募集活動
--

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

<ul style="list-style-type: none">・リハビリテーションの充実。近隣通院者の健康管理や自立した生活のサポートの充実

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市総合水沢病院
-----	-----------

診療科目	内科、小児科、外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、精神科、循環器内科、神経内科、整形外科、麻酔科、産婦人科
------	---

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	145				4	149
	稼働	95				4	99
	非稼働	50				0	0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	40.2					40.2
	R3	47.6					47.6
	R2	52.1					52.1

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	42.3					42.3
	R3	50.4					50.4
	R2	54.7					54.7

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	11.8					11.8
	R3	15.4					15.4
	R2	17					17

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他 ※	計
	R4.7.1現在		20	75		50	145
	R7見込(2025年)		20	75		50	145

※「その他」の50床は、休床中の病床数です。

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし

↓ ↓ 次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり □地域医療介護総合確保基金を利用
 □その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市総合水沢病院
-----	-----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・圏域の医療機関との役割分担や連携を図りながら、中・軽度の急性期医療からポストアキュートの機能、在宅医療のバックアップベッド機能等、多様な疾患に対応する地域医療に密着した病院

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・ケアマネージャーや介護スタッフを交えた退院カンファレンスの実施
- ・介護事業所等との情報交換会(研修会を兼ねて)
- ・連携だよりの発行

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

訪問看護ステーションを設置し、下記について取り組んでいる。

- ・訪問看護の質向上に向け、医療依存度の高い利用者を受け入れるため、特定行為修了看護師を育成
- ・対応の充実に向け、地域の医療機関、県立病院との連携を図り、在宅ターミナルケアを推進(訪問診療と連携し、24時間訪問看護支援体制の強化)
- ・重度心身障がい児・医療的ケア児の退院後の受入れに向け、小児医療機関と連携の強化
- ・精神障がい者の訪問看護の推進

(3) 医療従事者の確保

- ・関係大学医局訪問による医師派遣要請
- ・奨学金養成医師の受入れ
- ・ハローワーク・紹介会社の利用
- ・ふれあい看護体験等の職場体験学習の受入れ
- ・医科大学及び医療系養成学校の実習の受入れ

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・神経内科、精神科との連携
- ・多職種による認知症ケアチームを設置し対応

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険まごころ病院
-----	-----------------

診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、歯科口腔外科
------	-----------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	48					48
	稼働	48					48
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	32.4					32.4
	R3	32					32
	R2	30.8					30.8

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	67.5					67.5
	R3	66.6					66.6
	R2	64.7					64.7

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	22.8					22.8
	R3	21.2					21.2
	R2	17.9					17.9

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在			48			48
	R7見込(2025年)			48			48

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期)) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名

奥州市国民健康保険まごころ病院

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

- ・胆江地域、更には胆江医療圏の主に高齢者等の外来診療、入院診療
- ・在宅医療(訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護、訪問リハビリ)への積極的取組
- ・住民健診や予防接種等による疾病予防への取組
- ・臨床研修医や医学生の研修や実習を積極的に受入れ、医療人材育成の一端を担う。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・在宅医療を進めるうえで介護との連携は不可欠であり、ご家族と介護担当者との話し合いを定期的にもつ。
- ・高齢者総合福祉施設と保健行政施設との三者で構成する「達者の里連絡会」の取組を継続し、医療、介護、保健、福祉職員の相互理解を深め、その連絡会の活動を通じて、地域住民の保健増進の啓発、普及に取組む。

(2) 在宅医療の充実にに向けた取組について

- ・当院は本年度から在宅療養支援病院となったが、患者の求めに応じ、24時間往診が可能な体制を確保し、また、訪問看護ステーションとの連携を強化することで、患者の在宅療養を更に支えたい。
- ・現在、胆江圏域で月100件を超える訪問診療患者に当院は対応している。

(3) 医療従事者の確保

- ・奥州市医療局経営管理課での医療従事者の募集・確保
- ・紹介会社の利用や直接交渉

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・地域包括ケア病床に他院からバス患者を受け入れることで、相応なリハビリ訪問を確保し、リハビリテーションを提供する。
- ・地域包括支援センターと連携をとり、認知症を有するも未治療状態の患者に対応する。重度の認知症患者は認知症疾患医療センターへ相談、紹介する。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	おとめがわ病院
-----	---------

診療科目	精神科、内科
------	--------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可			274			274
	稼働			274			274
	非稼働			0			0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4			247.1			247.1
	R3			247.1			247.1
	R2			253.5			253.5

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4			90.2%			90.2%
	R3			91.6%			91.6%
	R2			92.5%			92.5%

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4			499.0			499.0
	R3			494.0			494.0
	R2			511.0			511.0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在					274	274
	R7見込(2025年)					274	274

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期)) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	おとめがわ病院
-----	---------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・胆江圏域で精神病床を有する唯一の医療機関。入院対応要するケースも含み、精神科領域での圏内医療要請に応える。急性期、回復期、慢性期全体をカバーする良質の医療を目指す。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・精神医療の目標は治癒と自立におかれるが、これが完全に実現されることは少なく、継続的な精神的介護、身体的介護、生活介護が必要になるケースが少なくない。その内容は個々人で大きな開きがある。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・在宅生活が可能な能力と環境が満たされていれば、無論、在宅医療が第一選択となる。それが十分に満たされていない場合には他の医療形態、療養形態を考慮せざるを得ない。

(3) 医療従事者の確保

・医療従事者の確保は積年の課題となっている。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・県南地域認知症疾患医療センターとして、認知症BPSD患者の治療受入れ、相談業務等へのスタッフ派遣等の取組を行っている。
・精神疾患リハビリの一環としての作業療法、デイケア訪問看護等が行われている。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険前沢診療所
-----	----------------

診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科
------	----------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可						0
	稼働						0
	非稼働						0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						
	R3						
	R2						

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						
	R3						
	R2						

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						
	R3						
	R2						

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4						0
	R7見込 (2025年)						0

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険前沢診療所
-----	----------------

2 他の医療機関との機能連携等

・内科診療を中心に診療内科の検査及び治療も専門的に行っており、胆沢病院をはじめとする管内医療機関(紹介元医療機関)やおとめがわ病院(紹介先医療機関)と連携している。
・臨床検査やCT検査の受託をさとう整形外科・リウマチ科クリニック及びたかはし整形外科スポーツクリニックから受けている。
・平成26年8月から(平成28年5月9日の再開所後も)休床としている(病床廃止を検討している。)

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

(3) 医療従事者の確保

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険衣川診療所
-----	----------------

診療科目	内科、リハビリテーション科
------	---------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可						
	稼働						
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						
	R3						
	R2						

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						
	R3						
	R2						

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						
	R3						
	R2						

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4			19			19
	R7見込 (2025年)			19			19

病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険衣川診療所
-----	----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・山間へき地である衣川地域唯一の医科医療機関として、へき地診療所としての役割やかかりつけ医機能を担い、県立胆沢病院(紹介先兼紹介元医療機関)や市立医療機関と連携して地域医療の提供を行っている。
・隣接する衣川地域唯一の高齢者施設の嘱託医として、医療介護連携を進めながら、衣川地域の地域包括ケアシステムを支えている。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

より

(3) 医療従事者の確保

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	民間診療所（鈴木眼科吉小路、井筒医院、桜井医院、平間産婦人科医院、産婦人科おいなお医院）
-----	--

診療科目	鈴木眼科（眼科）、井筒医院（内科、外科）、桜井医院（皮膚科、内科）、平間産婦人科医院（産婦人科）、産婦人科おいなお医院（産婦人科）
------	---

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可						0
	稼動						0
	非稼動						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						0
	R3						0
	R2						0
							0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						0
	R3						0
	R2						0
							0

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4						0
	R3						0
	R2						0
							0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R4.7.1現在		10		19	31	60
	R7見込(2025年)		10		19	31	60

○ 病床機能等の再編予定 あり （運用開始予定時期 ） なし

次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他（補助金名： ）を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】
【整備計画】

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	民間診療所（鈴木眼科吉小路、井筒医院、桜井医院、平間産婦人科医院、産婦人科おいなお医院）
-----	--

2 病院の役割・特色（病院運営の基本方針、担う医療機能等）

<p>（鈴木眼科吉小路：急性期10床）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>（井筒医院：慢性期19床）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療需要を参考にしながら病床機能病床機能の転換を検討していく。R7年の病床機能は未定です。 <p>（桜井医院：9床休床中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚疾患並びに漢方治療を希望される患者につき、検査及び治療を専門的に行っており、水沢病院ないし胆沢病院（紹介先 地域中核病院）と連携をしている。 ・平成26年度4月1日より全て休床としている。今後、ここ数年の医療動向を考慮し、病床を廃止する予定である。 <p>（平間産婦人科医院：11床休床中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、休床中で入院対応できない状態です。 <p>（産婦人科おいなお医院：11床休床中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊健を済生会、中部、磐井病院などと連携し、行っている。 ・対がん協会などの検診に引き続き、2次検診を行っている。 ・2021年4月1日より11床全て休床中。2024年までに病床廃止予定

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

--

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

--

(3) 医療従事者の確保

--

(4) その他（認知症対策、回復期リハビリテーション 等）

--